

今回の東京大学見学会・企業大学訪問で私は様々な事を学び、考えることができました。

まず東京に到着した後、国際会議場にて行われた、公演では私たちが今抱えているエネルギー問題について今後どのようなことが必要なのかという事を再び考え直すことが出来ました。そこで見させてもらったグラフには良い未来はそこまで書かれてはいませんでした。ですが、もし～の技術があれば、もし～が可能ならといった考えの元作られたグラフは先程のグラフよりも遥かに良い未来だと思いました。その未来をつくり出す為にも私たちは何かしら行動を起こさなければならないという考えを持ちました。

その後行われたグループセッションでは、沢山の講師の方のうち4名の講師の方からお話を伺うことが出来ました。その4名の方々にいただいた話の中で私が共通していると感じた所があります。それは「相手のことを考える」「物事に対して様々な視点から考える」「英語は大事」です。海外で活動する上で自分と相手が違う考え方である。これは、関西から東北へ転校した自分にとってはとても身にしみて理解できる内容でした。その時に感じた以上に考え方に差があると思うのでそれに対応できる力を身に付ける必要があると考えました。物事に対して様々な視点から考えるという事は私も日頃からニュース等を見て大切なものだと思っていたためその考え方で良かったことに安心しました。ただもっと身近な所から『なぜ?』を考えるべきと言われ、今後『なぜ?』を考えた時にどのような視点になるのかが非常に楽しみとなりました。最後に、英語は大事という事ですが...国際的な言語の英語は今後の生活で必須になる事は目に見えてるのに避けていた自分がいたのですがやれねばという危機感に襲われました。今後はしっかりとやっていこうと思います。他にも、これまでの経験から様々なアドバイスをいただくことが出来ました。その話の中で、自分の好きなことを仕事にすることが出来ているのだということに気が付きました。はじめは嫌々出会っても結局好きなことをやっているというのはとても難しいことであるのは理解しています。また、今のうちから将来の幅を広げていくのが必要であるという話もいただいた事から、今のうちにどれだけ将来に貯金を残せるかが大事だということだと思ったので、今からでは遅いかも知れませんが少しずつでも貯金が出来るとい生活をしていきたいと思っています。グループディスカッションも終わりその後、移動を行った訳ですが、地図で調べて理解しても現実でそれを100%使えるかいうもそうではない事を痛感しました。それは海外に行くよりも、痛感することであろうと思うので今のうちに様々な場所へ旅行に行くのもありかと思いました。

その後、午後の企業大学訪問では、伊東豊雄建築設計事務所様に伺いました。アポイントを取らせていただいた時には伊東さんは先約があるとのことで会えないとのことだったのですが、当日会うことができて、たくさんのお話をいただきました。中には聞いたことのない用語なども使われていたのですが、そこら辺はまた時間をかけて理解していこうと思います。

私が建築士という仕事を詳しく調べたり話を聞くまでは設計することの他にどのような仕事をしているのかが分からなかった上にテレビやニュースでも取り扱われることの少ない職柄なためにパツとした印象はありませんでした。伊東さんが設計した中でも私たちに身近な施設は仙台メディアテークです。伊東さんとのお話の中でメディアテークができるまでの一連の流れを聞くことができました。どのような方針で、どのようなことを考えて、そしてこのような実績を持っていますという事を応募し、それについての詳しいインタビューを受けて通れば初めて設計に入るということで、設計に入る段階で既にたくさんの仕事がある事に驚きがありました。その後も仕事があり、市民への説明があり、メディアテークはそこで賛否両論だったそうです。新聞にも掲載されたとのことで、自分の仕事が新聞に載るとはとても凄いことだと思っています。それからさらに細かい設計を加えていき、建設に入るそうです。一つの建物の設計の段階でとても長い期間を使うということを知り、今数日で終わる物事に対して面倒だと言った感情を抱いている自分の心は改変しなければならない最優先事項とも言えるかも知れないと深く思わされました。その後の工事では三年間程かかったそうなのですが、その間は仙台に住み込みで行く人もいたそうです。他の地域でもすぐに順応することが大切なのだと午前中に行わ

れた講演会に引き続き思いました。メディアテークを立てるのには6年かかったそうです。中学と高校を足した長さでの仕事です。私は頭が痛くなるような長さだと思いましたが建築界では普通なのだそうです。今、持っていない忍耐力も今後の課題となりました。

また、建築士という仕事は他の人との連携がとても大事になるということもわかりました。設計をするだけでは建物は立ちません。ましてや設計をしても無茶があれば実行にもうつしようがありません。他にも、内装や通気性など...の設計に必要な要素は他の人との協力が必要だそうです。さらに協調性も課題となります。さらにお話をいただくと、今後、国内では新設よりもリフォームの方が需要が増えてくるとのことでそこは意識すべきだと思いました。また、最近では新しい建材が増えているので今の建築では出来ないような建築が将来出来ると思うのでとても楽しみです。お話を伺う中で、CGをよく使うとのお話をいただいたので機械の扱い方も学ばなければならないという事実が発覚しました。様々な事ができないとなれないという感じがしたので今のうちからは是非とも幅を広げていきたいです。

その日の夜のOB・OGの方々との懇談会でも様々なお話をいただきました。先輩方の分野と自分の目指す分野は違うとはいえ、今後の大切にすべきことを話していただきました。やはり先輩方の説明はわかりやすく見習いたいものであり、話す内容も具体的でした。勉強よりかは大切にしたいものを聞けたと思います。今の友達は将来各分野で活躍する人たちばっかなので異分野との出会いがある友達は大切にしていきたいのは大事である。とのことに今まで自分はそのような考え方がなかったために異分野との出会いはどのような刺激をもたらすのか興味が湧きました。また、勉強面だとセンター模擬試験では英語85 数学A、Bで90を取ればいいというこれまでのテストを見ると果てしなく遠いような点数を言われ、センター模擬がどのくらい難しいのかは知りませんがそれでも今の全くと言っていいほど無い実力を圧倒的に超えているのは分かりきったことなので今後、しっかりと学問を積んでいきたいと思えます。一生懸命やって損はしないというお言葉も頂け、今思えばセンター試験まで1000日も無いわけですから...もうやるしか無いと思えました。

1日目の時点で多くの経験をし、そこから大量の課題が見つかったわけですが、学問での問題より自分の心やその他様々な問題が大量に見つかったので、見えないところではありますが、鍛えていけたらと思えます。

2日目は東大のオープンキャンパスに行きました。まず第一に大学はここまで広いのかという驚きを貰いました。講座等にはほとんど参加出来なかったのですが、すれ違う大学生の方々の顔を見ると勉強だけで生活がいっぱいというような感じは全くしませんでした。どのような勉強をしてきたのかを聞いておけば良かったと今更ながら後悔しています。また、様々な設備が整っており中学の頃に二高に来た時よりも遥かに刺激だらけのオープンキャンパスでした。

この2日間で私が得たものは非常に大きいと思えます。この文を書くことで再びやらねばという心が強くなりました。今回得たものと、見つかった課題を克服していきながらどうやって高校生活を過ごしていくかで将来が決まりそうです。成長しなければなりません。

このような機会を与您していただき本当にありがとうございました。